



## 最新 オーストラリア マーケット動向

2022/1/12 発行 週刊

作成：三井住友DSアセットマネジメント株式会社  
URL: <https://www.smd-am.co.jp>

## 為替

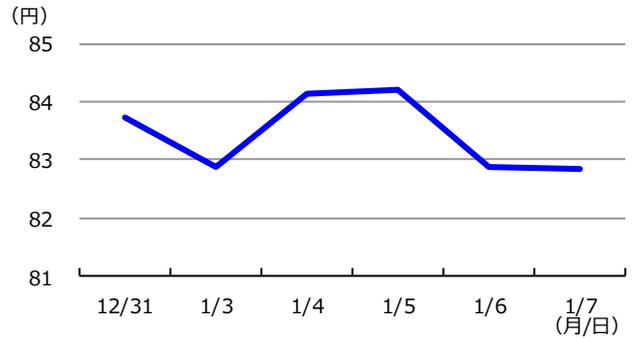
先週の豪ドルの対円レートは、下落しました。  
原油価格の上昇が好材料となり、資源国通貨である豪ドルが上昇した局面もありましたが、豪州国内の新型コロナウイルスの感染者数が過去最多を更新し、経済活動の鈍化が懸念されました。また、米国の金融政策の正常化を前倒しで進め、早期利上げだけでなく資産を積極的に圧縮する観測が高まったことにより米ドルが上昇し、豪ドルは売りが優勢となりました。それらを受けて、週間では豪ドルは対円相場で下落しました。

単位 (円)	2022/1/7	1週間前	1か月前	3か月前	6か月前	1年前
円/豪ドル	82.85	83.72	80.88	81.53	82.73	80.53

豪ドルの対円推移 (過去1年)



豪ドルの対円推移 (過去一週間)



(注) 左グラフは2021年1月7日～2022年1月7日、右グラフは2021年12月31日～2022年1月7日。

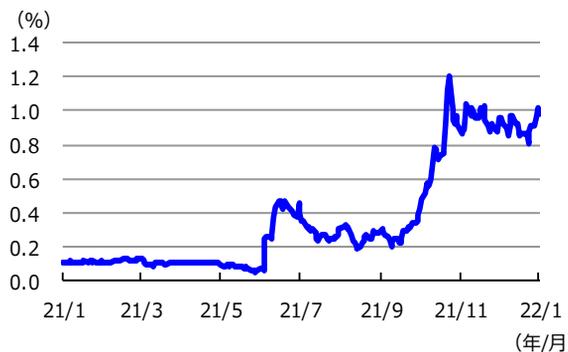
(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

## 金利

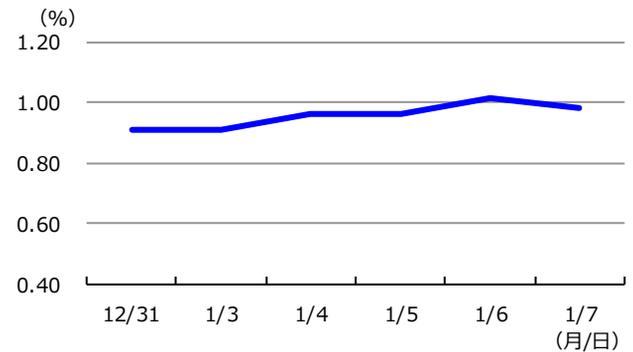
先週の豪州3年国債利回りは、上昇しました。  
世界的に新型コロナのオミクロン型の感染は拡大しているものの、重症化率が低いことなどを受けて経済を減速させるリスクは低いとの見方が高まりました。なかでも米国は、金融政策の正常化が前倒しで進む見方が強まり、米国の早期利上げ期待を背景に米長期金利は急上昇しました。これらを受けて豪州3年国債利回りもつられた動きとなり、週間では上昇（国債価格は下落）しました。

単位 (%)	2022/1/7	1週間前	1か月前	3か月前	6か月前	1年前
豪3年国債利回り	0.98	0.91	0.95	0.42	0.39	0.10

3年国債利回りの推移 (過去1年)



3年国債利回りの推移 (過去一週間)



(注) 左グラフは2021年1月7日～2022年1月7日、右グラフは2021年12月31日～2022年1月7日。

(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。



## 最新 オーストラリア マーケット動向

2022/1/12 発行 週刊

作成：三井住友DSアセットマネジメント株式会社  
URL: <https://www.smd-am.co.jp>

## 株式

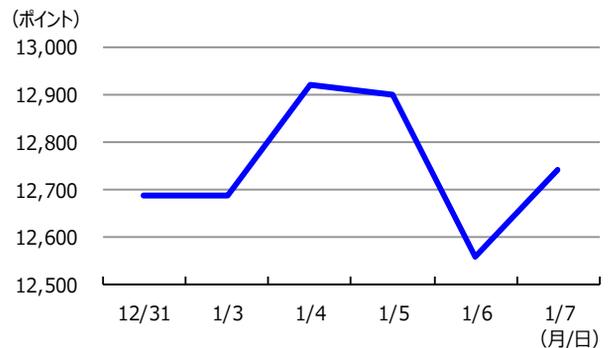
先週の豪州株式は、上昇しました。  
世界的にオミクロン型の感染者数が拡大しているものの、重症化率が低いことや原油高などが支援材料となり、堅調に推移しました。後半には、豪州国内の感染者数が過去最多を更新し続けていることや、米長期金利の上昇などに影響されて下落する局面もありましたが、週間では豪州株式は上昇しました。

単位 (ポイント、%)	2022/1/7	1週間前	1カ月前	3カ月前	6カ月前	1年前
指数・騰落率	12,738.05	0.42	1.62	2.88	2.65	14.17

株式指数の推移 (過去1年)



株式指数の推移 (過去一週間)



(注) 左グラフは2021年1月7日～2022年1月7日、右グラフは2021年12月31日～2022年1月7日。

株式指数は、MSCIオーストラリア指数 (配当込み、現地通貨ベース)。

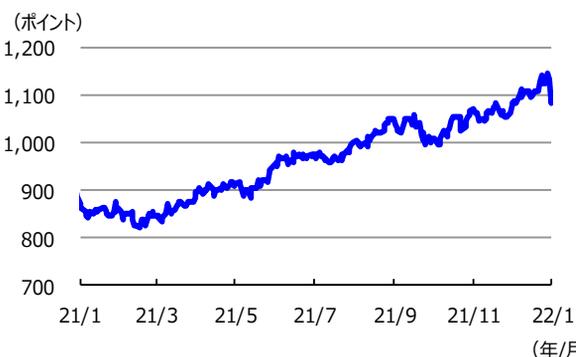
(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

## リート

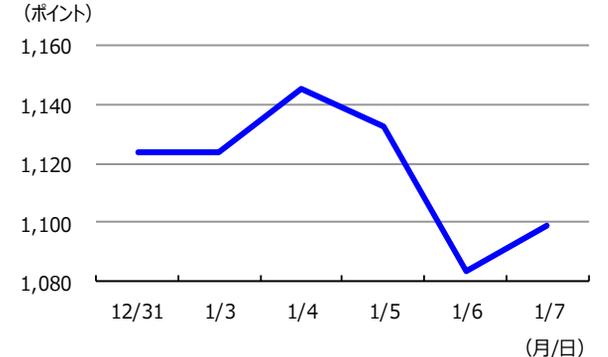
先週の豪州リート指数は、大幅に下落しました。  
週初は、原油価格の上昇などにより豪州株式市場が上昇したことを受けて堅調な展開となりました。一方で、主要国の長期金利が上昇したことを受けて世界的にリート市場は大幅に下落したことで豪州リートも同様の動きとなり、週間では豪州リート市場は大幅に下落しました。

単位 (ポイント、%)	2022/1/7	1週間前	1カ月前	3カ月前	6カ月前	1年前
指数・騰落率	1,098.58	▲ 2.24	1.92	9.06	12.45	26.20

リート指数の推移 (過去1年)



リート指数の推移 (過去一週間)



(注) 左グラフは2021年1月7日～2022年1月7日、右グラフは2021年12月31日～2022年1月7日。

リート指数は、S&amp;PオーストラリアREIT指数 (配当込み、現地通貨ベース)。

(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。